

## 典拠管理ルール

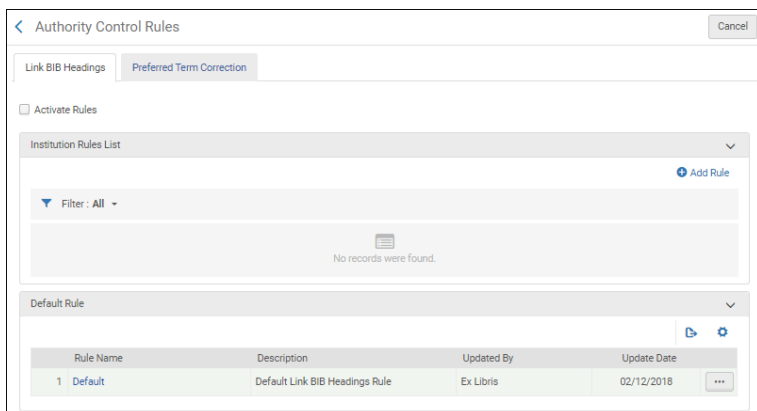
ルールを使用して書誌標目のリンクと優先語の修正を制御するには、次のいずれかの役割が必要です。

- 目録編集者
- 目録マネージャー
- 目録管理者
- リポジトリマネージャー
- 一般システム管理者

書誌標目のリンクルールと優先語修正ルールを作成および設定するには、次のいずれかの役職が必要です。

- 目録管理者
- 一般システム管理者

典拠管理ルールを使用すると、書誌標目のリンクを実行するタイミングと、リンクをスキップするタイミングをより細かく管理できます。また、優先語の修正プロセスと優先語の修正の最終結果をより細かく制御できます。典拠管理ルールの設定ページには、設定オプションのリソースリストからアクセスできます（〔設定メニュー>リソース>一般>典拠管理ルール〕）。



### 典拠管理ルール

典拠管理ルールの詳細については、以下の [\[書誌標目ルールのリンク\]](#) および [\[優先用語修正の管理\]](#) セクションを参照してください。これらのセクションは、[典拠管理タスクリストの使用](#) ページの情報に精通していることが前提であることに注意してください。

## 書誌標目ルールのリンク

書誌見出しのルールリンクを使用すると、書誌見出しのリンクジョブの実行時にリンクが発生するタイミングを管理できます。詳細については、[典拠-書誌標目のリンク](#) を参照してください。

書誌標目のリンクルールを使用すると、保存時のリンクと自動リンク（リンク書誌標目ジョブの一部として）を書誌標目でスキップする場合を定義できます。たとえば、未分類の個人名のリンクを実行しないように指定できます。

リンクジョブの結果として〔[典拠管理タスクリスト](#)〕に表示される書誌標目レコードを管理するプロセスは、特定のタイプのレコードを識別するタグを実装することにより合理化できます。詳細については、[タグの使用](#)を参照してください。

書誌標目のリンクルールは、[\[典拠管理ルール\]](#) ページ ([\[設定メニュー\]](#) > [\[リソース\]](#) > [\[一般\]](#) > [\[典拠管理ルール\]](#) > [\[書誌標目のリンク\]](#)) で定義されます。それらを定義するには、以下のパラメーターを使用してから、演算子 (=、Contains、In List、Not Equals、または Not in List) を指定し、値を選択/入力します。レコードが保存される際、または書誌標目のリンクジョブが書誌標目を自動的にリンクしようとする際、これらのルールは書誌レコードのデータを評価して、レコードをリンクするかどうかを決定します。

ルールを作成するときに、リンクするかどうかを指定できます。

複数のルールを作成し、有効化/無効化することができます。複数のルールが定義されている場合、それらは機関ルールリストに存在する順序で処理されます。また、1つのルールの条件が満たされ、プロセスがそのルールの出力を使用すると、残りのルールは処理しません。ルールが作成されていない場合、デフォルトの書誌標目のリンクルールが使用されます。

書誌標目のリンクルールのパラメータ：

- 典拠ID - たとえば、MARC 21 \$0またはUNIMARC \$3に保存されている典拠ID情報を参照します（詳細については、[「発信元システムIDを使用して書誌レコードを典拠レコードにリンクする」](#)を参照）。
- 書誌見出しの値 - このパラメータは、表示された書誌見出しの値を評価して、リンクをスキップする必要があるかどうかを判断するために使用します。たとえば、書誌見出しの値が「[人類の歴史](#)」を含むように設定され、表示される書誌見出しに「[人類の歴史](#)」が含まれる場合、リンクはスキップされます。

Name	Operator	Value
1 Bibliographic Headings Value	Contains	Human History

書誌標目の値パラメータ

#### Note

見出しの末尾の句読点を無視する場合は、演算子 **Contains** を使用して、末尾の句読点を考慮する場合は **Equals** を使用します。

- 発音区別符号 - このルールが設定されている場合、Almaは発音区別符号を正規化せず、代わりに照合時にUTF-16エンコード値を考慮します。同じUTF-16値を持つ発音区別符号のみが一致とみなされます。たとえば、書誌見出し「650 \$a Tröll」は、「150 \$a Troll」の典拠レコードと照合すると、「発音区別符号 = 同一ではない」とみなされます。
- フィールド - このパラメータを選択すると、値としてフィールド番号を指定できます。
- 言語 - このパラメータは、\$9 (MARC 21) または \$7 (UNIMARC) で目録化された情報を指します。
- サブフィールドコード - このルールが設定されると、Almaはコンテンツと照合で 사용되는サブフィールドの双方を比較します。たとえば、書誌見出し「700 \$a Shakespeare, William, \$d 1564-1616 \$t Tragedies」は、典拠レコード「100 \$a Shakespeare, William, \$d 1564-1616 \$x Tragedies」と照合された場合、「サブフィールドコード = 同一ではない」とみなされます。
- ソースコード - このパラメータが選択されている場合、呼び出し番号/分類などの典拠タイプ、年代用語、企業名、ジャンル/形式、地理的名称、会議名、個人名、トピック名、統一タイトルなどのドロップダウンリストから値を選択

することができます。

- 未分類の個人名 - このパラメーターでは、以下を調べます：
  - MARC 21 authority 008 control field, position 32 = "b"
  - UNIMARC authority 120 control field, position 1 = "a"

---

#### Note

このパラメータを選択すると、**True**または**False**を選択できます。

---

- 語彙 - このパラメータを選択すると、アクセスできるローカル典拠またはコミュニティゾーンの語彙コードを選択できます。

これらのパラメータを使用するルールの作成の詳細については、[書誌標目のリンクルール](#)の作成を参照してください。

#### リンクルールを設定する方法:

1. アクティブでない場合は [アクティブ] チェックボックスをオンにします。
2. デフォルトのルールは、機関の優先に応じて設定されることを確認してください。Almaは上から順にルールをチェックし、すべての入力パラメータが一致する最初のルールを適用します。いずれのルールも適用されない場合は、デフォルトのルールが使用されます。デフォルトのルールをリンクに設定することをお勧めします。
3. 常に適用される入力パラメータを使用して最初のルールを設定します - ルールごとに1つのパラメータを使用して、他のパラメータに依存せずにこのパラメータが常に適用されるようにします。たとえば、サブフィールドが一致しない場合にレコードをリンクしたくない場合は、最上位のルールを次のように設定できます。
  1. 入力パラメータ: サブフィールドコード = 同一ではない
  2. ワークフロー設定: リンクしない
4. これらの下に、他の特定の条件が満たされた場合にのみ適用されるルールを設定します。パラメータを組み合わせ、特定の状況の組み合わせにのみ適用することができます。たとえば、図書館が特定の語彙の発音区別記号の正規化を防止したい場合は、次のようなルールを設定できます。
  1. 入力パラメータ：
    1. 語彙=フィンランド語名前典拠ファイル
    2. 発音区別符号 = 同一ではない
  2. ワークフロー設定: リンクしない
5. 機関がリンクを希望する特定のサブケースがある場合は、一般的なケースがリンクされないようにルールの上の「ワークフロー設定: リンク」にルールを追加します。リンク時にタグを追加して、カタログ作成者が権限管理タスクリストでこれらの見出しを識別できるようにすることもできます。

---

## 典拠管理-リンクングから見出しを除外

ユーザーは、典拠フィールドに`$$9 no_linkage`を追加することにより、自動処理による典拠レコードへの特定の見出しのリンクを除外することができます。

これは、既存の見出しに似ていますが、実際にはその見出しに関連しないデータがフィールドに含まれている場合に特に便利です。これにより、フィールドが誤って見出しに関連付けられることを防ぎ、ライブラリのメタデータの整合性を向上させます。

これは、作成者の名前が認定された作成者と同一であり、両者を区別してリンクを防ぐために十分なデータが存在しない場合(例えば、図書館はジョン・スミスの古い論文を目録にしている、作者に関するそれ以上の伝記情報を持っていない)

に有利です。

---

## Note

この機能は、コミュニティゾーンレコードまたはコミュニティゾーンにリンクされた書誌レコードでは使用できません。

---

---

## 書誌 標目のリンク ルールの作成

書誌 標目のリンクルールは、[典拠管理ルール 設定] オプションを使用して作成することができます。

### 書誌 標目のリンク ルールを作成する方法

1. [典拠管理ルール] ページ ([設定メニュー > リソース > 一般 > 典拠管理ルール]) を開き、[書誌標目のリンク] タブを選択します。
2. [機関ルールリスト] セクションで、[ルールの追加] を選択します。
3. ルールの名前と説明を入力します。
4. 入力パラメータを入力します。
  1. 入力パラメータセクションで、[パラメーターの追加] を選択します。
  2. ドロップダウンリストから、(名前)のオプションを選択し、演算子を選択します。
  3. 値を入力または選択して、[パラメーターの追加] を選択します。
5. ワークフロー設定パラメータを入力します。
  1. 次の適用方法のいずれかを選択します。
    - リンク - 典拠 - 書誌標目のリンクジョブをまたは保存する際にリンク (MDエディタ内) で、書誌 標目のリンクルール のいずれかの基準が満たされたときに、書誌標目をリンクする場合は、このオプションを選択します。
    - リンクしない - 書誌標目のリンクルール のいずれかの基準が満たされた場合に、典拠 - 書誌標目リンクジョブまたは保存する際にリンク (MDエディター) で、書誌 標目 をリンクしない場合は、このオプションを選択します。
  2. [タグ付け] ドロップダウンリストからタグを選択します (オプション)。

典拠管理ルールタグ は、リンク書誌標目ルールと優先語修正ルールの 両方に表示されることに注意してください (システムで有効になっている場合に限られます。詳細については、[優先語修正の管理](#)を参照してください)。

タグは、書誌見出しの自動リンクジョブ ([リンク]オプションを選択した場合) でのみ使用され、[典拠管理タスクリスト] のレコードを処理するプロセスの合理化に役立ちます。[リンクしない]を 選択すると、タグを指定するオプションは表示されないことに注意してください。

タグが存在しない場合は、次を実行して追加します。

    - [タグの追加] を選択します。

- [行の追加] を選択します。
- [典拠管理タスクリスト] の [タグ] 列にファセットとして表示されるタグコードと説明を入力し、このタブをデフォルトとして設定する場合は [はい]、そうでない場合は [いいえ] を選択します。
- [行の追加] を選択します。
- このプロセスを繰り返して、他のタグを追加します。
- [カスタマイズ] または [保存] を選択します。作成するすべてのタグが [タグ付け] ドロップダウンリストに表示されることに注意してください。

## 6. [保存] を選択します。

ルールが [機関ルールリスト] セクションに追加されます。ルールの作成後、編集、複製、または削除を選択できます。複数のルールがある場合、[上に移動] および [下に移動] 機能を使用してルールの順序を変更することもできます。各ルールは個別に有効または無効にできます。

7. レコードを保存するとき、または書誌標目のリンクジョブが書誌標目を自動的にリンクしようとするときに適用するために作成するルールの [ルールのアクティブ化] チェックボックス を選択します。[書誌見出しのリンク] と [優先語修正] タブの両方にルールの有効化チェックボックスが付いており、各タイプのルールを個別に 有効化/非有効化 できることに注意してください。

## 使用例

### 特定のフィールド値が一致した場合のリンク

特定のフィールド値が発生したときに、「典拠 - 書誌見出しをリンク」ジョブリンク書誌見出しにルールに含めたい場合、次の設定を使用します。

The screenshot shows the 'Link BIB Headings Rule Editor' interface. It includes fields for Name, Description, Created By, and Updated By. The 'Input Parameters' section contains a table with the following data:

Name	Operator	Value
1 Field	in List	600,610

The 'Workflow Setup' section has the 'Link' radio button selected, and the 'Tag as' dropdown is set to 'Field'.

特定のフィールド値が満たされた場合のリンクの例

### ソースコード値が一致した場合のリンク

ソースコード値が一致したときに「典拠 - 書誌見出しをリンク」ジョブ書誌見出しにルールに含めたい場合、以下の設定

を使用します。

Name	Operator	Value
1 Source Code	In List	Geographic Name, Uniform Title

ソースコード値が一致した場合のリンクの例

## 権限管理タスクリスト

書誌標目のリンクルールを使用すると、[\[典拠管理タスクリスト\]](#)はタグの追加列とファセットを提供します（[タグの使用](#)を参照）。

一部の列はデフォルトで非表示になっていることに注意してください。これらの列を表示するには、**構成**アイコン



設定ペインを開きます。[\[タグ\]](#)列オプションを選択して、この列がまだ表示されていない場合、表のビューに追加します。

## タグを使用する

書誌標目のリンクルールを使用すると、[\[典拠管理タスク\]](#)リストのレコードを管理するためのタグを設定できます（[書誌標目のリンクルールの作成手順](#)を参照）。[典拠管理ルールタグのリストについては、以下の例を参照してください。](#)これらのタグは、[\[書誌標目のリンク\]](#)ルールと、有効な場合は優先語修正ルールの両方に表示されることに注意してください（[詳細については、優先語修正の管理](#)を参照してください）。

Enabled	Move Up	Move Down	Code	Description	Default Value	Updated By	Last Updated
<input checked="" type="checkbox"/>			01	Auth ID	<input type="checkbox"/>	ex_limpl	20/01/2019
<input checked="" type="checkbox"/>			02	Field	<input type="checkbox"/>	ex_limpl	20/01/2019
<input checked="" type="checkbox"/>			03	Source code	<input type="checkbox"/>	ex_limpl	20/01/2019
<input checked="" type="checkbox"/>			04	Bib Heading Value	<input type="checkbox"/>	ex_limpl	20/01/2019
<input checked="" type="checkbox"/>			05	UDN	<input type="checkbox"/>	ex_limpl	20/01/2019
<input checked="" type="checkbox"/>			06	MESH	<input checked="" type="checkbox"/>	ex_limpl	20/01/2019

## 典拠管理ルールタグ

書誌 標目の リンクルールでタグが使用されると、それらは〔[典拠管理タスクリスト](#)〕（〔[リソース > 目録 > 典拠管理タスクリスト](#)〕）のすべてタブで、レコードのリストをフィルター処理するために使用できるファセットとして表示されます。

The screenshot shows the 'Authority Control Task List (1 - 20 of 4,915)' interface. On the left, the 'Facets' sidebar has 'Tag' selected, with a list of options including 'Auth ID (1)', 'Field (2)', 'Source code (2)', 'Bib Heading Value (1)', 'UDN (1)', 'MESH (1)', and 'Undefined (4907)'. The main area shows a table with columns for 'Report Type', 'Change Date', 'MMS ID', and 'Title'. The 'All' button in the 'Review' section is highlighted with a red box.

## 典拠制御ルールタグファセット

The screenshot shows the 'Authority Control Task List (1 - 2 of 2)' interface. The 'Tag' facet in the sidebar is set to 'Source code', which is highlighted with a red box. The main table shows two records with 'Source code' in the 'Tag' column, also highlighted with a red box. The 'All' button in the 'Review' section is also highlighted with a red box.

## ソースコードファセット / 典拠管理ルールタグ

## 優先語修正の管理

優先語修正ルールを設定すると、優先語修正ジョブの実行時に優先語修正プロセスの母集団を管理できます。詳細については、[典拠 - 優先語の修正](#)を参照してください。

優先語修正ルールでは、優先語修正ジョブの実行時に修正が自動的に実行されないようにマークすることもできます。その後、スタッフは、実行される前の〔[典拠管理タスクリスト](#)〕でマークされた変更を確認/仲介することができます。

仲介による優先語修正ルールに設定する場合（〔[仲介による優先語修正の適用](#)〕を選択することにより）、優先語修正ジョブは、実行する 必要のある 修正 を識別し、現在の用語と修正された場合に**変更**される用語を示すエントリを〔[典拠管理タスクリスト](#)〕に追加します。

優先用語修正ルールでは、特定のタイプのレコードを識別するためのタグを作成して、[典拠管理タスクリスト]での作業プロセスを合理化できます（詳細については、[特定のレコードを仲介](#) および [タグのために識別する](#) 参照してください）。

Almaの優先語修正ルールを使用すると、以下を定義できます。

- 自動的に修正する必要があるレコード
- 修正すべきではないレコード
- [典拠管理タスクリスト]で修正のための提案がされるものの、自動的に実行されないレコード（仲介/手動レビューのために保持）

この機能は、典拠-優先語修正ジョブの実行時に処理される優先語修正ルールによって管理されます。これらのルールを使用して、典拠管理タスクリストで優先語修正の母集団を制御します。この機能に関するアイデアについては、[使用例](#)のセクションを参照してください。

典拠-優先語修正ジョブを管理するためのルールを定義するには（詳細については、[典拠-優先語の修正](#)を参照）、以下のパラメーターを使用して、演算子（=、Contains、In List、Not Equals、またはNot in List）を指定し、値を選択または入力します。これらのルールは、処理されると、書誌レコードの既存のデータを評価して、優先語の修正を処理する方法を決定します。

- **典拠ID** – このパラメータは、MARC 21 \$0やUNIMARC \$3に格納されている典拠ID情報を指します（詳細は[「書誌レコードと典拠レコードのリンクにおける出所システムIDの使用」](#)を参照）。
- **フィールド** – このパラメータを選択すると、値としてフィールド番号を指定できます。
- **表示ルール** – このパラメータを選択すると、作成したすべての表示ルールがドロップダウンリストに表示され、そこから選択できます。表示ルールは、典拠レコードのメタデータで実行されます。詳細については、[表示ルールの操作](#)を参照してください。
- **言語** – このパラメータは、\$9（MARC 21）または\$7（UNIMARC）で目録化された情報を指します。
- **通常のフィールドとリンクされたフィールドは、異なる典拠レコードにリンクされています** – このオプションは、880フィールドが（Ex Librisによって）許可フィールドとして有効になっている場合に表示されます。このオプションは、フィールドとそのリンクされた880フィールドが異なる多言語典拠にリンクされている場合を識別するために使用できます。trueまたはfalseのオプションから選択してください。
- **ソースコード** – このパラメータが選択されている場合、次のドロップダウンリストから値を選択することができます。呼び出し番号/分類などの典拠タイプ、年代用語、企業名、ジャンル/形式、地理的名称、会議名、個人名、トピック名、統一タイトル。
- **語彙** – このパラメータを選択すると、アクセスできるローカル典拠またはコミュニティゾーンの語彙コードを選択できます。

これらのパラメータを使用するルール作成についての詳細は、[優先語修正ルールの作成](#)を参照してください。

ルールを作成するときに、優先語修正ジョブ中に適用するものと適用しないものを指定でき、どの変更を仲介するかを指定することができます。

複数のルールを作成し、有効化/無効化することができます。複数のルールが定義されている場合、それらは優先用語修正ルールリスト内に存在する順序で処理されます。1つのルールの条件が一致すると、プロセスはそのルールの出力を使用し、残りのルールは処理しません。

ルールが作成されていない場合、優先語修正ジョブの実行時にデフォルトの優先語修正ルールが使用されます。有効な

ルールが優先順位で評価され、それらのルールのいずれも分析対象のレコードに適用される 優先語修正のためのロジックがない場合にも、デフォルトの優先語の修正ルールが使用されます。

ルール機能の一部として、優先語修正ジョブの実行時に適用できるカスタムタグを設定し、その後、[典拠管理タスクリスト]に表示されるレポートの情報をより簡単に見つけるために使用できます。詳細については、[タグ](#)を参照してください。

---

## MARC 21 優先語の修正により、フィールド間の相互参照で見出しが入れ替わる場合があります

Almaでは、典拠レコードの参照（クロスリファレンス）に基づいて書誌見出しを修正し、優先レコードに更新するとともに、書誌レコード内のフィールドタグ（610から630など）を適切に変更するようにライブラリを設定できます。これにより、書誌データが典拠レコードの優先語と整合した状態が維持されます。

貴機関でこの機能を有効にするには、関連する典拠語彙の語彙コードを、カンマ区切りで顧客パラメータ `authority_ptc_ignore_suffix`（[設定メニュー]>[リソース]>[一般]>[その他の設定]）に入力してください。パラメータに関する詳細については、[その他の設定（リソース管理）](#)を参照してください。

書誌フィールドがX30フィールドにアップデートされると、書誌レコード内の非ファイリングインジケータは、リンクされた典拠レコードに基づいて調整されます。MARC21標準に従って、典拠フィールド130(非ファイリング文字)の1番目のインジケータが、X30書誌フィールドの2番目のインジケータにコピーされます。

この新しい動作によってアップデートされた見出しは、「優先レコードの修正 - 書誌見出しがアップデートされ、タグが変更されました」という新しいレポートタイプで典拠管理タスクリストに表示され、目録担当者は必要に応じて（インジケータの調整など）見直し、さらにアップデートすることができます。レポートタイプの詳細については、[典拠管理タスクリストの使用](#)を参照してください。

---

### Note

相互参照を通じて典拠レコードにリンクされていますが、優先レコードと非優先レコードが異なるフィールドにある書誌見出し（たとえば、優先レコードは典拠フィールド130にあり、相互参照は典拠フィールド410にある）も、代替グラフィック表記を含むフィールドに対応しています。

2024年11月のリリース以降に、いずれかの典拠語彙でこのシナリオの管理をAlmaに設定したライブラリでは、代替グラフィック表記にリンクされているケースにも、リンクを保持したまま優先レコードへの修正が適用されるようになりました。

この拡張機能は2024年11月以降のリリースから、典拠にリンクされた書誌見出しに適用されます。すでにリンクされている見出しにこのオプションを適用するには、**F3**を使用して手動で再リンクするか、「典拠レコードから書誌レコードをリンク解除する」ジョブ（[管理]>[ジョブとセットの管理]>[ジョブの実行]）を選択したレコード・セットに対して実行します。

---

## 優先語修正ルールの作成

優先語修正ルールは、[典拠管理ルール] 設定オプションを使用して作成できます。

優先語修正ルールを作成する方法

1. [典拠管理ルール] ページ ([設定メニュー>リソース>一般>典拠管理ルール]) を開き、[優先語の修正] タブを選択します。
2. [機関ルールリスト] セクションで、[ルールの追加] を選択します。
3. ルールの名前と説明を入力します。
4. 入力パラメータを入力します。
  1. 入力パラメータセクションで、[パラメーターの追加] を選択します。
  2. ドロップダウンリストから、(名前)のオプションを選択し、演算子を選択します。
  3. 値を入力または選択して、[パラメーターの追加] を選択します。
5. ワークフロー設定パラメータを入力します。
  1. 次の適用方法のいずれかを選択します。
    1. 優先語の修正を適用する
    2. 仲介による優先語の修正を適用する
    3. 優先語の修正を適用しない
  2. [タグ] ドロップダウンリストからタグを選択します (オプション)。 [優先語の修正を適用しない] を選択した場合、タグを指定するオプションはありません。  
 タグが存在しない場合は、次を実行して追加します。
    - [タグの追加] を選択します。
    - [行の追加] を選択します。
    - [典拠管理タスクリスト] の [タグ] 列にファセットとして表示されるタグコードと説明を入力し、このタブをデフォルトとして設定する場合は [はい]、そうでない場合は [いいえ] を選択します。
    - [行の追加] を選択します。
    - このプロセスを繰り返して、他のタグを追加します。
    - カスタマイズを選択します。作成するすべてのタグが [タグ付け] ドロップダウンリストに表示されることに注意してください。
6. [保存] を選択します。  
  
 ルールが [機関ルールリスト] セクションに追加されます。ルールの作成後、編集、複製、または削除を選択できます。複数のルールがある場合、[上に移動] および [下に移動] 機能を使用してルールの順序を変更することもできます。各ルールは個別に有効または無効にできます。
7. [ルールの有効化] チェックボックスをオンにします。  
  
 レコードを保存するとき、または書誌標目のリンクジョブが書誌標目を自動的にリンクしようとするときに、作成したルールを適用するには、このチェックボックスをオンにする必要があります。[書誌見出しのリンク] と [優先語修正] タブの両方にルールの有効化チェックボックスが付いており、各タイプのルールを個別に有効化/非有効化できることに注意してください。

## 使用例

優先語修正処理および結果の制御に使用される優先語修正ルールの例については、次のセクションを参照してください。

### 優先語修正で特定のレコードをスキップする

典拠 - 優先語の修正ジョブで特定のレコードの優先語の修正をスキップするルールが必要な場合、[優先語の修正を適用しない]を選択して、以下に示すように設定することができます。詳細については、[典拠管理タスクリスト](#)を参照してください。

The screenshot shows the 'Preferred Term Correction Rule Editor' interface. The rule name is 'CC Meeting Name' and the description is also 'CC Meeting Name'. The 'Created By' and 'Updated By' fields are both 'Ex Libris', and the dates are '11/19/2018'. Under 'Input Parameters', there is one parameter: 'Source Code' with an equals sign operator and 'Meeting Name' as the value. In the 'Workflow Setup' section, the radio button for 'Do not apply preferred term correction' is selected.

修正が適用されない優先語

### 仲介用の特定のレコードを識別する

典拠-優先語修正ジョブで特定のレコードを仲介用にタグ付けする場合は、以下のように設定し、[仲介による優先語修正を適用する]を選択し、LCNAMES（または作成した他のタグ）にタグ付けします。詳細については、[典拠管理タスクリスト](#)を参照してください。

The screenshot shows the 'Preferred Term Correction Rule Editor' interface. The rule name is 'CC LCNAMES Mediated' and the description is also 'CC LCNAMES Mediated'. The 'Created By' and 'Updated By' fields are both 'Ex Libris', and the dates are '11/19/2018'. Under 'Input Parameters', there is one parameter: 'Vocabulary' with an equals sign operator and 'LCNAMES' as the value. In the 'Workflow Setup' section, the radio button for 'Apply mediated preferred term correction' is selected. At the bottom, the 'Tag as' field is set to 'LCNAMES'.

仲介用レコードのタグ付け

## 特定の修正を選択的に自動化する一方で、他の仲介による修正を特定する

件名の標目を自動的に修正したいものの、個人名の修正を仲介したい場合は、以下のルール例を参照してください。

The screenshot shows the 'Preferred Term Correction Rule Editor' for a rule named 'CC Personal Names'. The description is also 'CC Personal Names'. It was created and updated by 'Ex Libris' on '11/19/2018'. The 'Input Parameters' section contains a table with one parameter:

Name	Operator	Value
1 Source Code	=	Personal Name

The 'Workflow Setup' section has three radio buttons: 'Apply preferred term correction' (unselected), 'Apply mediated preferred term correction' (selected), and 'Do not apply preferred term correction' (unselected). The 'Tag as' field is set to 'Personal Names'.

個人名を仲介する

LCNAMESにリンクされたフィールドは自動的に修正でき、医療件名標目（MESH）にリンクされたフィールドは、仲介されたレポート/レビュー用に識別されます。

The screenshot shows the 'Preferred Term Correction Rule Editor' for a rule named 'CC MESH Mediated'. The description is also 'CC MESH Mediated'. It was created and updated by 'Ex Libris' on '11/19/2018'. The 'Input Parameters' section contains a table with one parameter:

Name	Operator	Value
1 Vocabulary	=	MESH

The 'Workflow Setup' section has three radio buttons: 'Apply preferred term correction' (unselected), 'Apply mediated preferred term correction' (selected), and 'Do not apply preferred term correction' (unselected). The 'Tag as' field is set to 'MESH'.

仲介用に識別された**MESH**

---

## 権限管理タスクリスト

優先語の修正ルールを使用すると、[[典拠管理タスクリスト](#)]には追加の列とファセット（[モードとタグの使用](#)を参照）と修正を適用するオプション（[典拠管理タスクリストの仲介による修正の変更を適用](#)を参照）が提供されます。

### モードとタグの使用

優先語修正ルールを使用すると、**変更**が自動的に行われるように指定したり、仲介による**変更**を識別したりするように指定できます。[[典拠管理タスクリスト](#)]のオプションは、これらの仕様を使用してレコードをフィルタリングする方法を

提供します。優先語修正ルールで指定したタグは、[典拠管理タスクリスト]でもフィルタリングできます。以下の例を参照してください。

- モード - ルールが自動的に適用される場合と、仲介として指定される場合を識別します。

Report Type	Title	Mode	Vocabulary	Field	BIB Heading
1	Preferred Term Correction - Multiple preferred terms with the same language found Zapotec Science: Farming and Food in the Northern Sierra of Oaxaca	Automatic	LCNAMES	100	Ethnic Studies / Native American Studies
2	Preferred Term Correction - Multiple preferred terms with the same language found Zapotec Science: Farming and Food in the Northern Sierra of Oaxaca	Automatic	LCNAMES	100	SOCIAL SCIENCE
3	Preferred Term Correction - CJK characters in Authority heading Young Masculinities Understanding Boys in Contemporary Society /	Mediated	MESH	100	医学

### モード列

Report Type	Title	Mode	Vocabulary	Field	BIB Heading
1	Preferred Term Correction - Multiple preferred terms with the same language found Zapotec Science: Farming and Food in the Northern Sierra of Oaxaca	Automatic	LCNAMES	100	Ethnic Studies / Native American Studies
2	Preferred Term Correction - Multiple preferred terms with the same language found Zapotec Science: Farming and Food in the Northern Sierra of Oaxaca	Automatic	LCNAMES	100	SOCIAL SCIENCE
3	Preferred Term Correction - CJK characters in Authority heading Young Masculinities Understanding Boys in Contemporary Society /	Mediated	MESH	100	医学

### モードファセット

- 優先語修正ルールで識別するタグは、[典拠管理タスクリスト]のレポートを表示しフィルタリングするのに使用できます。

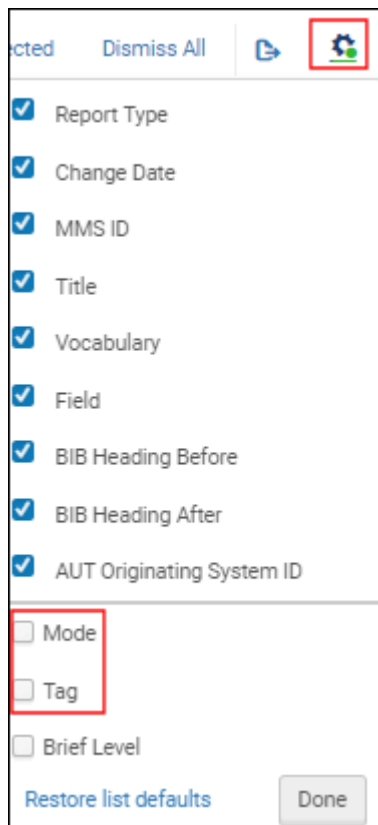
Report Type	Tag	Title	Vocabulary	Field	BIB Heading
1	LCNAMES Authority	Preferred Term Correction - BIB heading found no authorized term American government and politics in the information age.	LCNAMES	651	United States Politics and government 21st century.
2	MESH Authority	Preferred Term Correction - BIB heading found no authorized term American government and politics in the information age.	MESH	651	United States Politics and government 21st century.

### タグ列とファセット

モードとタグの列はデフォルトで非表示になっていることに注意してください。これらの列を表示するには、構成アイコン



設定ペインを開きます。[モード] および [タグ] オプションを選択して、表のビューに追加します。



モードとタグのオプション

## 仲介による修正を典拠管理タスクリストに適用する

〔典拠管理タスクリスト〕の〔レビュー〕タブで仲介による修正を確認した後、修正したい書誌標目に**変更**を適用できます。これにより書誌レコードが、典拠レコードデータを有しつつ、修正されます。仲介による修正は、次の方法で適用できます。

- 個別の行 – **変更**を適用する〔典拠管理タスクリスト〕の各行について、行アクションから〔適用〕アクションを選択できます。もしくは、行の先頭にあるチェックボックスを選択し、続いて〔**選択項目を適用する**〕を選択します。
- 複数の行 – 複数のページにわたる複数のレコード（最大100レコード）を選択し、〔**選択項目を適用する**〕を使用できます。

さらに、ヘッダ行の列チェックボックスを使用して、作業しているページの各行のすべてのチェックボックスを選択し、続いて**選択を適用**を選択できます。このオプションは複数のページにわたって機能しないことに注意してください。

- すべての仲介行 – リストに表示されるすべての仲介行に（ページ全体で）仲介による修正を適用するには、〔**すべて適用**〕tオプションを選択します。